

【解答と予想配点】

合計 150 点

① 小計 28 点

【解答】

問1 ア 問2 イ 問3 ウ 問4 ア 問5 エ 問6 エ 問7 ウ 問8 イ 問9
ウ [18点(各2点×9)]

問10 1. T 2. F 3. F 4. T 5. F [10点(各2点×5)]

【解説】

問1 「第2段落の主目的は、血液循環 _____ を説明することである」

- ア. 「の知識にガレノスが貢献したこと」 同段落最終文で「ガレノスは血流を発見した功績があった」と述べられている。
- イ. 「に関するガレノスの研究で生じた誤謬」 同段落最後から2文目で、「彼は特に正しかったわけではない」と述べているが、それが誤謬だったとまでは言っていない。
- ウ. 「に関する結論をガレノスが出すのに動物がどの様に役だったのか」 動物実験に関しては同段落第2文で述べているだけ。
- エ. 「に関するガレノスの考えをヨーロッパ人がいつ受け入れたのか」 第2段落ではなく、第3段落第1文で「千年以上に渡って、ヨーロッパで強く支持された」とは述べられているが、それは彼の考えが受け入れ始めた時ではないし、述べられている段落が違う。

問2 「第2段落によれば、ガレノスは血液が _____ を正確に認識していた」

- ア. 「毛細血管を通じて運ばれる」 同段落第4文で、毛細血管ではなく「静脈と動脈」が血液を運ぶと述べている。
- イ. 「心臓を通る」 同段落最後から2文目の後半で、「血流が心臓を通ることを認めた」と述べられている。
- ウ. 「体に酸素を供給する」 本文で言及されていない。
- エ. 「肺で浄化される」 第2段落ではなく、第3段落第3文でセルベの学説として述べられている。

問3 「第3段落によれば、ミシェル・セルベは _____ で逮捕された」

- ア. 「神に関する書物を焼いて禁じたこと」 同段落第6文後半で述べられているように、「焼かれ禁じられた」のは「全ての彼の著作」であって「神に関する著作」ではない。
- イ. 「肺と肝臓に関する医学的研究が失われたこと」 同段落第6文で述べられているように、「失われた」のは「彼の医学に関する著作」であって「肺と肝

臓に関する医学的研究」ではない。

- ウ. 「神の本質に関して(教会と)異なる見解を抱いていた」 同段落第 5 文で、彼の「著作は非正統派で、強力な宗教指導者であったジョン・カルヴァンから迫害を受けた」とある。
- エ. 「ジョン・カルヴァンについてあまりに多くのことを書いたこと」 同段落第 4 文で、「彼の著作の大多数は神の本質についてであった」のであって、カルヴァンについてではない。

問4 「第 4 段落の主目的は、_____ を説明することである」

- ア. 「血液循環に関するハーバーの理論」 同段落第 2 文で、「医学に関する研究によって、血流に関する本を書くことになった」と述べられている。
- イ. 「ガレノスとハーバーの類似点」 同段落第 6 文で、「ハーバーの考え方はすぐには受け入れられなかったのは、ガレノスの考え方がほぼ 1500 年間普及していたからだ」と述べられているように、彼らには類似点はなかった。
- ウ. 「王室顧問医師としてのハーバーの役割」 同段落第 1 文で、王室顧問医師であったと述べられているだけ。
- エ. 「肝臓の重要性に関するガレノスの考え方」 ガレノスの学説は第 4 段落ではなく第 2 段落の主たる論点である。

問5 「最終段落の主目的は、_____ を説明することである」

- ア. 「ガレノス、セルベ、ハーバーが血液循環を発見するのに果たした役割」
- イ. 「血液循環に関するハーバーの発見に与えた中国の影響」 同段落最終文で、「ガレノスに先立つ 400 年前に、地球の反対側で、『血液循環』という用語が古代中国の医学的文献で初めて現れた」とは述べられているが、それがガレノスに影響を与えたとは述べられていない。
- ウ. 「ガレノス、セルベ、ハーバーが研究をしているときに直面した問題」 同段落は総じて彼らの功績を論じているのであって、困難な問題を論じているのではない。
- エ. 「発見をしたのは誰なのかを決めるのが難しいこと」 同段落第 6 文で、「誰が本当に血流を『発見した』のか」と述べられている。

問6 「最終段落の 3 行目で、'it' は、_____ を指している」

- ア. 「ハーバーの研究」
- イ. 「血流」
- ウ. 「研究」
- エ. 「称賛」 **deserve** 「～に値する」の目的語になっていることから推測できる。

問7 「本文中の[1]はどの語が最も適していますか」

- ア. 「したがって」

- イ. 「さらに」
- ウ. 「しかし」 空所の前が否定文でありながら、その後は肯定文であり、しかも強調の助動詞 **did** 「実際に」までも用いられている。この関係は逆接語の **however** で連結される。「彼は特段に正しかったわけではない。しかし、彼は二種類の血液があること、そして血液が心臓を流れることを実際に認識していた」
- エ. 「その後」

問8 「本文中の[2]はどの語が最も適していますか」

- ア. 「それゆえ」
- イ. 「とは言っても」 空所の直前が肯定文で、その後が否定文になっている。したがって、譲歩を表す **though** で連結される。「彼は毛細血管の存在について理論を立てた。とは言っても、それを自分の目で確かめることは出来なかった」
- ウ. 「その結果」
- エ. 「その代わりに」

問9 「本文に一番適した表題はどれですか」

- ア. 「血液は人体をどの様に流れるのか」
- イ. 「血液循環に関する最も優れた学説は何であろうか」
- ウ. 「血液循環を発見したのは本当は誰なのか」 第一段落の冒頭で、「発見を誰の功績とするのかは興味深い」と述べ、同段落第3文で「血液循環」に話題を限定している。そして、その後各段落でそれぞれの論者の学説を通史的に概観している。
- エ. 「なぜハーバーは血流を発見しなかったのか」

問10 「本文に基づいて、正しい叙述には“T”を、そして間違った叙述には“F”を記しなさい」

1. 「ガレノスは血液が肝臓で作られるのに食物が必要だと考えた」 第2段落第4文で、「ガレノスはまた、私たちは食物を食べるときに血液が肝臓で作られるとも考えていた」と述べられている。したがって、一致する。
2. 「血流に関するセルベの考え方はいまでも広く認められている」 第3段落最終文で、「医学に関するセルベの著作はほとんど失われ、その医学的業績は認められなかった」と述べられている。したがって、一致しない。
3. 「ハーバーは毛細血管の存在を直接観察することで証明した」 第4段落第4文で、「毛細血管の存在を観察できなかった」と述べられている。したがって、一致しない。
4. 「啓蒙時代はハーバーの研究が受け入れられることになった」 第4段落第4文で、「啓蒙時代のおかげで、人々は世界を新しい見方で見る自由を手に入れ

た」とある。したがって、一致する。

5. 「中国人は 1200 年代初頭に血流に関して最初に認識していた」 最終段落の最終文で血液循環に関する中国人の認識について述べられているが、それは「ガレノスの 400 年前」のことであった。第 2 段落で、ガレノスは西暦 2 世紀の人であると述べられている。したがって、1600 年代にならなくてはならないので、一致しない。

2 小計 20 点(各 2 点×10)

【解答】

1. イ 2. ア 3. エ 4. ウ 5. エ 6. イ 7. エ 8. イ 9. ウ 10. ア

【解説】

1. 「その役人が懸念の問題で辞職するかどうかはまだわかっていない」
主語の名詞節を作るのはイ. **whether** 「～するかどうか」だけ。ア. **Unless** 「～しない限り」とウ. **Although** 「～だけれども」は副詞節を作る。エ. **Supposedly** 「恐らく」は副詞。
2. 「彼は私を見かけるとすぐにドアの後ろに隠れた」
空所の直後が主語と述語との倒置形になっている。したがって、空所には否定を表す副詞が入る。**No sooner ... than** ～ 「…するとすぐに～する」
3. 「ちょうど彼が湯船に入ろうとしたとき、全ての電灯が消えた」
進行形は「～しようとしている」という意味で、近い未来を表すことがある。主節の時制は過去なので、ウ. **is getting** は不可。**just as** 「ちょうど～するとき」 **go off** 「(電灯が)消える」
4. 「今晚遅くまで仕事をしてくれるよね？」
object to A 「A に反対する」 **to** は前置詞なので、その後には名詞または動名詞がくる。
5. 「隣の家のスミスさんは私の母と一緒に小学校に通っていましたが、50 歳を優に超えているに違いありません」
文脈から「必然的推量」を表す **must** 「～に違いない」を用いる。
6. 「もっと長くパーティにいられたんだけど、疲れちゃったから 8 時頃には家に帰ったわ」
could have + p.p. 「(しようと思えば)～することが出来たのに」
7. 「この国では選挙はどれほど(→何年おきに)行われますか？」
hold は「～を行う」という意味では他動詞なので、受動態になる。直接疑問文では、主語と述語とが倒置になるので、ウ. **elections are held** は不可。

8. 「万一もっと情報を知りたいければ、最寄りの事務所にご連絡下さい」
主節が命令文なので、条件節には **should** を用いる。If S **should** V, S + V(will + V・
仮定法過去・命令法)「万一～したら...だろう」
9. 「今あまりお金がないので、昨日コンピューターにそんなに多額のお金を使わなければ良かった」
I wish S + V[仮定法過去完了]「～しなければよかったのに」
10. 「彼らを何もしないでそこに座らせておかないで」
let + O + C[do]「…に～させる」

③ 小計 20 点(各 2 点×10)

【解答】

1. イ 2. ア 3. ア 4. ウ 5. イ 6. ア 7. エ 8. ウ 9. ア 10. エ

【解説】

1. 「彼らは学校の歴史についてより多くのことを知りたがっている」
be keen to do「しきりに～したがる」 = **be eager to do**
2. 「彼らはもっと金儲けができると見込んで外国に行った」
prospect「見込み」 = **possibility**
3. 「私たちはそのレストランの接客係に苛立った」
annoyed「イライラした」 = **irritated**
4. 「彼は予約を確認するように求められた」
confirm「～を確認する」 = **verify**
5. 「私が一番尊敬する人は祖父です」
look up to「～を尊敬する」 = **admire**
6. 「ジャックは高校ではあまり意欲的でなかった。しかし、不思議にも、今では大学で熱心に勉強している」
strangely「不思議なことに」 = **curiously**
7. 「全部払って頂けさえしたら、お仲間に入ります」
provided「もし～ならば」 = **as long as**
8. 「ニューヨーク市で新しい職を得ました。それで、アメリカに引っ越しました」
consequently「その結果」 = **therefore**
9. 「マイクはこれまで一生懸命働いてきたから、しばらく休暇を上げたらいい」
deserve「～に値する」 = **is entitled to**
10. 「本校の学生は貴校の学生と協力したっています」
collaborate「協力する」 = **cooperate**

4 小計 16 点(各 2 点×8)

【解答】

1. ア 2. エ 3. ウ 4. エ
5. ア 6. イ 7. イ 8. エ

【解説】

1. 「その夫婦はどんな種類の映画が好きなのですか？」
ア. 「夫は SF 映画が好きで、奥さんはラブ・コメディが好きである」 男性の 2 回目の発言が根拠。
イ. 「夫はラブ・コメディが好きで、奥さんは SF 映画が好きである」
ウ. 「彼らは二人とも SF 映画が好きである」
エ. 「彼らは二人ともラブ・コメディが好きである」
2. 「男性が『きみの言うことを信じるよ』と言うとき、何を言いたいのですか？」
ア. 「彼は女性が言ったことを書き留める」
イ. 「彼は女性に伝言する」
ウ. 「彼はその映画を女性に返す」
エ. 「彼は女性が言ったことを信じる」 I'll take your word for it. 「あなたの言うことを信じます」
3. 「なぜ男性はその映画を三夜借りるのですか？」
ア. 「一夜借りると金額が同じだから」
イ. 「奥さんがその映画を楽しまないだろうから」
ウ. 「一日では彼には時間が足りないかも知れないから」 最後の男性の発言が根拠。
「この二日間本当に忙しい」と述べている。
エ. 「暇な時間がたくさんあるから」
4. 「その会話に基づくと、会話をしている二人の関係で一番考えられるのは？」
ア. 「劇場の職員と映画ファン」
イ. 「図書館員と学生」
ウ. 「夫婦」
エ. 「店員と顧客」 最後から 2 回目の女性の発言で、借りる期間と金額を述べている。
また、男性は女性に夫婦で楽しめる適切な映画の相談をしている。
5. 「トムが『手に余るような仕事をやろうとする』と言うとき、彼は何を言いたいのですか？」
ア. 「彼は責任を負い過ぎていた」 bite off more than one can chew 「手に余るよう

- な仕事をやろうとする」
- イ. 「彼は夕食を食べ過ぎた」
- ウ. 「彼は仕事を終えるのに時間が掛かりすぎた」
- エ. 「彼はあまりにも多くの招待状を出した」
6. 「どうしてトムはチャリティ・イベントを統括するようになったのですか？」
- ア. 「彼は昨年それをしたから」
- イ. 「彼は自分からそれをするると自発的に申し出たから」 最後から 2 回目のトムの発言で、本来担当する予定だったパトリックが私用で出来なくなったので、自分から彼の代わりをすると申し出た旨の発言がされている。
- ウ. 「彼はそれをするように求められたから」
- エ. 「彼には暇な時間が多かったから」
7. 「この会話からパトリックについて何がわかりますか？」
- ア. 「彼は営業会議に出るので忙しい」
- イ. 「彼はチャリティ・イベントの統括をした経験がある」
- ウ. 「旅行の計画が中止になったので、彼は会議に出られなかった」
- エ. 「彼の業界はチャリティにお金を寄付することになっている」
8. 「この会話はどこで行われているのでしょうか」
- ア. 「ホームレスセンター」
- イ. 「小児病院」
- ウ. 「チャリティイベント」
- エ. 「郵便局」 最初のトムの発言で、カレンに「長いこと並んでいるの？」と聞いている。それに対して、カレンは「小包の重さを量ってもらって、それを両親に送る」と言っている。

5 小計 12 点(各 3 点×4)

【解答】

問 1 イ 問 2 ウ 問 3 エ 問 4 ア

【解説】

- 問1 選択肢 4 の **fighting** に **the** が付いているが、これは 1 の **A civil war** を受けてのもの。したがって、解答はイかエのいずれかになる。また 2 の **they** は 4 の **many people** を受けている。したがって、イが正解になる。
- 問2 4 で「雪が解けると大地に種がまかれる」と述べられた後で、3 で「約 2 週間後、新芽が大地から育ち始める」、その後で 1 「後に植物に実がなる」となり、最後に「果実の色が変わり始めると、収穫時だ」になる。以上、時系列的な流れを追うことが必要。

問3 1は逆接語の **However** から始まることはないので、アとウは不可。1の **that** は2の文全体を受けている。4の **her** は1の **Katherine Switzer** を受けている。3の **the race** は2の **the Boston Marathon** を受けている。したがって、エが正解になる。

問4 2は **it** という代名詞があり、それは3の **The two-cent coin** を受けている。2で **it was very popular with people** 「それは庶民に人気があった」と、4の **it became less popular** 「人気がなくなった」とが **however** で連結されている。したがって、アが正解になる。

〔6〕 小計 12 点(各 3 点×4)

【解答】

(1) エ (2) ウ (3) エ (4) イ

【解説】

- (1) スマートフォン販売高に関する月別の市場占有率についてのグラフである。縦軸は市場占有率であることが書かれている。
- (2) 大手三社が市場占有率のほぼ半数を占めている。
- (3) 8～9月にかけて、A社はその占有率を急激に伸ばしている。
- (4) 同期間に他の4社は全て売上高が落ちている。

〔7〕 小計 23 点

【解答・解説】

- (1) 消費税の再引き上げは、一般の国民から広い支持を得られなかったかも知れないが、政府は2015年末までに消費税をさらに2パーセント引き上げるつもりだった。

[別解: 消費税をもう一度上げたら、市民には広く支持されていなかったであろう。しかし、政府は2015年末までにさらに2パーセント上げる計画をしていた。]

[基準] 13点 [①2点 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫各1点]

- ① NP1 **may not have been M1 VenP1 by NP2, but NP3 VP1**: 「NP1はNP2によってM1でVenP1されなかったかも知れないが、NP3はVP1する」
- ② NP1 = **Another rise in the NP4**: 「NP4の再引き上げ」 **rise** は「値上げ」でもよいが、「消費税」は商品そのものではないので、本来は不自然な訳であることは自覚しよう。
- ③ NP4 = **consumption tax**: 「消費税」
- ④ M1 = **widely**: 「広く」
- ⑤ VenP1 = **supported**: 「支持される」
- ⑥ NP3 = **the government**: 「政府」

- ⑦ VP1 = had planned to M3 VP2: 「M3 で VP2 するつもりであった」 planned to は「～する計画であった」でも可。
- ⑧ NP2 = the public : 「国民」 「市民」や「大衆」でも可。
- ⑨ M3 = further : 「さらに」
- ⑩ VP2 = increase it M3 M4 : 「M3 で M4 でそれを上げる」
- ⑪ M3 = by 2% : 「2 パーセント」 by は〔差異〕を表し「～だけ」という意味だが、そのまま直訳しない方がよい。
- ⑫ M4 = by the end of 2015 : 「2015 年末までに」 この by は〔期限〕を表し「～まで」の意味。
- ⑬ 誤字, 脱字, 語句の訳出漏れ, 判読不能の語は 1 点ずつ減点する。ただし, 同一箇所は繰り返し減点しない。
- (2) 米やパンなどの日常食品に対する税率を下げながら, その一方で, 必需品以外の品目に対する税率を上げた国もある。
- [別解: 米やパンなどの日常の食料品の消費税率を低く抑え, 他方で, 必需品以外の品目に高い税率を課す政策を採り入れている国もある。]
- [基準] 10 点 [①2 点 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨各 1 点]
- ① NP1 have VenP1 NP2, while VingP1 NP2 M1: 「NP1 は NP2 を VenP1 して, その一方で, NP2 を M1 で VingP1 している」
- ② NP1 = Some countries : 「いくつかの国」 「～する国もある」でも可。
- ③ VenP1 = adopted : 「採用した」
- ④ NP2 = reduced tax rates on NP3 : 「NP3 に対する軽減税率」
- ⑤ NP3 = everyday foods, such as NP4 : 「NP4 のような日常食品」
- ⑥ NP4 = rice and bread : 「米やパン」
- ⑦ VingP1 = taxing NP5 : 「NP5 に課税している」 (they were) taxing NP5 の省略構文。
- ⑧ NP5 = non-essential items : 「必需品以外の品目」
- ⑨ M1 = more : 「より一層」
- ⑩ 誤字, 脱字, 語句の訳出漏れ, 判読不能の語は 1 点ずつ減点する。ただし, 同一箇所は繰り返し減点しない。

【略字一覧】

NP	[noun phrase]	名詞句
VP	[verb phrase]	動詞句
VingP	[present participial phrase <i>or</i> gerund phrase]	現在分詞句または動名詞句
VenP	[past participial phrase]	過去分詞句

8 小計 19 点

【解答・解説】

- (1) ①実際のところ, ②これらの観光大使たちが ③有名かつ人気に ④なればなるほど, ⑤彼らが代表する地域 ⑥への経済効果は ③大きくなる。

①In fact, ④the more ③famous and popular become ②these ambassadors of tourism, ③④the bigger ⑥their economic effect they have on ⑤the areas where they play a representative role.

[別解]

①In fact, ④as ②these ambassadors of tourism ③become better know and ④more ③popular, ⑥the economic effect ③④becomes bigger ⑥that they have on ⑤the areas they represent.

[基準] 10 点 [①②各 1 点 ③④⑤⑥各 2 点]

- ① 「実際のところ」

(a) actually

(b) in fact[in reality] [to tell the truth, as a matter of fact は不可]

- ② 「これらの観光大使」

(a) these tourism ambassador[these ambassador of tourism]

(b) these ambassador for sightseeing[these ambassador for sightseeing]

(c) these government officials for sightseeing

(d) these government officials of tourism

[大使に相当する単語が思い浮かばない場合, (c),(d)のような表現も可]

- ③ 「有名かつ人気になる」/ 大きくなる」

(a) become[get] (both) famous and popular / become big[strong] [become の位置は ②these ambassadors of tourism の後ろも可]

- ④ 「なればなるほど」

(a) the 比較級 + S V, the 比較級 + S V

(b) as S V + 比較級, S V + 比較級

[比較級の構文を使った構文も, 接続詞 as を使った構文ともに可]

- ⑤ 「彼らが代表する地域」

(a) the area[place] which they represent

(b) the area[place] where they play a representative role

- ⑥ 「(彼らが及ぼす)への経済効果」

(a) their economic effect they have on ~

(2) ①このような形で ②日本の地域活性化が ③進み, ④彼らは ⑤海外での日本文化理解にも
④貢献している。

②Vitalization in local communities in Japan ③is achieved ①this way, ④and they
also contribute to ⑤cultural understanding of Japan abroad.

[別解]

①This way ②of promotion ③activates ②local communities in Japan, ④and they are
also important contributors to ⑤the understanding of Japanese culture in other
countries.

[基準] 9点 [①1点 ②③④⑤各2点]

- ① 「このような形で」
 - (a) (in) this way [文頭も可]
 - (b) This way (of promotion)
- ② 「日本の地域活性化が」
 - (a) Vitalization[Revitalization] local communities in Japan
 - (b) (of) promotion ~ local communities in Japan
- ③ 「進み」
 - (a) is achieved[has been achieved]
 - (b) activates[has activated]
 - (c) advances[has advanced]
 - (d) make progress[has progressed]
- ④ 「彼らは～貢献している」
 - (a) they (also) contribute to ~
 - (b) they are (also) contributors to
- ⑤ 「海外での日本文化理解にも」
 - (a) cultural understanding of Japan abroad[in foreign countries].
 - (b) the understanding of Japanese culture in other countries

[講評]

例年通りの出題形式で、難易度もさほど変化がない。総じて言えば、私立医学部の問題としては、かなり簡単な問題の部類に入る。したがって、合格最低ラインは8割以上であることは間違いない。大問1～6までが9割で、7と8が7割という内訳だ。最後の2つの大問において、いかに失点を少なくしているかがポイントとなるだろう。